

資料編

- 1 . 設 立 趣 意 書
- 2 . 委 員 名 簿
- 3 . 会 議 経 緯

地球温暖化防止のための道路政策会議 設立趣意書

- (1) 地球温暖化問題は、自然の生態系や人類の生存基盤に深刻な影響を及ぼす重要な世界規模の環境問題であり、我が国においても、異常気象や動植物の生息域の変化等の一因として地球温暖化が指摘されている。

このような中、2005年2月16日に京都議定書が発効され、これを受けて現在京都議定書目標達成計画がとりまとめられているところである。同計画には、京都議定書における二酸化炭素排出量の削減目標である1990年比6%削減を確実に達成するために必要な措置が定められる。

- (2) また、我が国では、二酸化炭素排出量の約2割を運輸部門が占めており、そのうちの約9割が自動車から排出されている。

自動車からの二酸化炭素排出量を減らすためには、交通流の円滑化による走行速度の向上が有効であることから、同計画では、幹線道路ネットワークの整備や交差点の立体化等の交通容量の拡大とともに、自動車交通需要の調整や高度道路交通システムの推進等の具体的な対策が位置付けられる予定である。

- (3) 今後、地球温暖化の防止に向けて、同計画に定められる道路政策の推進に向けて鋭意取り組んでいく必要があり、そのため、道路政策による二酸化炭素の抑制の効果の把握、二酸化炭素の抑制のための道路政策の体系化、それに基づいた道路政策の推進などについて、幅広く総合的に検討することを目的として、本会議を設置するものである。

地球温暖化防止のための道路政策会議 委員名簿

座 長

石田 東生 筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授

委 員 (8 名)

井出 多加子 成蹊大学 経済学部教授

岡部 正彦 (社)日本経済団体連合会 輸送委員会 委員長

黒田 博史 (社)日本自動車工業会 交通委員会 委員長

中村 英樹 名古屋大学大学院 工学研究科助教授

林山 泰久 東北大学大学院 経済学研究科教授

藤井 聡 東京工業大学大学院 理工学研究科助教授

松田 英三 読売新聞社 論説委員

松波 正壽 (社)日本自動車連盟 副会長

地球温暖化防止のための道路政策会議における会議経緯

平成17年4月28日閣議決定された京都議定書目標達成計画の確実な達成をはじめ、地球温暖化防止のために、道路分野においても二酸化炭素削減に向けた積極的な取組を実施することが必要である。

このため、道路政策による二酸化炭素の抑制の効果の把握、二酸化炭素の抑制のための道路政策の体系化、それに基づいた道路政策の推進などについて、幅広く総合的に検討することを目的として、「地球温暖化防止のための道路政策会議」を設置し、平成17年4月26日の第1回会議開催以降、合計5回にわたり会議を行った。

- | | |
|-----------|---|
| H17.4.26 | 第1回地球温暖化防止のための道路政策会議
・道路交通におけるCO ₂ 排出量の現状について |
| H17.5.23 | 第2回地球温暖化防止のための道路政策会議
・自動車交通からのCO ₂ 排出の推移について
・道路政策によるCO ₂ 排出削減効果の事例について
・海外のCO ₂ 排出量の推移と目標削減量について |
| H17.6.28 | 第3回地球温暖化防止のための道路政策会議
・「中間とりまとめ」、「アクションプログラム」の具体案について |
| H17.7.28 | 第4回地球温暖化防止のための道路政策会議
・「中間とりまとめ(案)」についての検討 |
| H17.8.26 | 地球温暖化防止のための道路政策会議「中間とりまとめ」の公表 |
| H17.12.13 | 第5回地球温暖化防止のための道路政策会議
・「最終成果のとりまとめ」についての検討 |